



沿津キャンパスの

あゆみの

散策ガイドブック
+ 思い出写真館

沼津キャンパス散策マップ

沼津キャンパスは後方に名峰・富士を仰ぎ見、眼下に駿河湾を見下ろす絶好の景勝地・愛鷹山の麓にあります

全 国に展開する東海大学——そのキャンパスの1つである沼津キャンパスは、1973（昭和48）年に海洋学部教養課程のキャンパスとして誕生、その後1991（平成3）年に開設された開発工学部の学舎となって今日に至っています。沼津キャンパスでは2012年度をもって開発工学部の正規課程が終了し、その歴史に1つの区切りを迎えます。

沼津キャンパスは静岡県沼津市の郊外、愛鷹山の麓にあります。お茶畑に囲まれた小高い丘の上に広がり、富士山や伊豆半島などを眺望できる抜群のロケーションを誇ります。コンピュータなど施設設備の充実に入れ、地域社会や地場産業と密に連携。先進的な実践教育を行い、多くの優秀な人材を社会に輩出してきました。

そ んな沼津キャンパスには、さまざまな歴史があります。その歴史を物語る多くの足跡は、そのときどきの学生たちや教職員の思い出とともに、「キャンパスのあゆみ」そのものでもあるのです。

さあ、思い出を胸に「沼津キャンパスのあゆみ」を確かめに行きましょう。前半では、キャンパスを散策をしながら見

散策ルート

- ① 学坂
- ② 野太馬の松（跡）
- ③ 体育館
- ④ 4号館
- ⑤ 中央階段
- ⑥ サンサンハウス
- ⑦ 1号館



どころを紹介していきます。後半は「思い出写真館」と題して、沼津キャンパスの約40年の足跡を写真でたどっていきます。

沼 津キャンパスへのアクセスは、最寄り駅であるJR東海道線の原駅から、路線バスに乗るのが最も一般的です。静岡県道22号線（通称・根方街道）の「東海大入口」交差点から北へ入ると、「学坂」と呼ばれる坂道が現れます。両側にお茶畑が広がる曲がりくねった坂道を2kmほど上ると、正門に到着です。キャンパスを南北に貫く大通りを上っていくと、右手に体育館、左手に4号館が見えてきます。正面の中央階段を上った先に見える、らせんのタワーが1号館の目印です。

沼津キャンパスさんぽ道

キャンパスまでの道のりも、正門をくぐった先も、続く坂道。その途中で、あなたは何かを見つけるでしょうか



ワンポイント!

沼津キャンパスを知る上での豆知識

東

海大学沼津キャンパスは1973(昭和48)年、海洋学部の1、2年次生が教養課程を学ぶ校舎として開設されました。このため当時は「沼津教養部」と呼ばれていました。



沼津校舎開校・落成式

海洋学部は1962(昭和37)年4月に開設され、教養課程は主に湘南キャンパス、一部は札幌キャンパスなどで学び、3年次以降の専門課程を清水キャンパスで学んでいました。その非効率性を軽減するため、清水に近い沼津に教養課程が置かれました。

その後、海洋学部の教養・専門両課程を清水に統合することとなり、1987(昭和62)年度の2年次生から順次清水へ移転しました。1988年度からは1～4年生すべてが清水で学ぶ体制となり、沼津教養部は1987年度末(1988年3月)、15年におよぶ役目を終えました。

1 学坂



キャンパスへの通学路にある坂道は、「学坂」と俗称されています。かつては「大学坂」とも呼ばれましたが、いつしか省略されました。曲がりくねった道の両側には、お茶畑が広がっています。

坂の途中に立つ電柱、43本には絵画が巻き付けてあります。通学路の景観を自分たちの手で向上させようと、有志の学生たちが取り組んだものです。その名も「電柱アートプロジェクト」。本学のチャレンジセンター(学生の挑戦をサポートする組織)の支援を受け、電柱設置者の東京電力とも連携した、全国でも初の試みとなりました。

作品はドライバーの視線をひきすぎないように、また景観を損なわないよう、細心の注意が払われています。



学坂の電柱アートは2008年度に16本、2009年度に27本が設置された

2 野太馬の松



1976 (昭和 51) 年撮影

その昔、駿河湾を航行する船舶から目印とされていたほど太く目立つ、松の巨木がありました。「野太馬の松」と呼ばれたこの銘木を、湘南と清水の両校舎間を移動していた本学の創立者・松前重義が目に留め、校地に選定したといわれています。

木はキャンパスに入っすぐ、ロータリーの中心部に立っていましたが、害虫などの影響で倒木の危険もあったため、1983 (昭和 58) 年 1 月に惜しまれながら伐採されました。跡地には小さなほこらがまつられています。



野太馬の松伐採後、跡地には小さなほこらがまつられた。桜の写真は 2010 年春に行われた「野太馬山祭典」のもの

キャンパス内で保管されている根本近くの一部から、直径 1 m 以上の太さがあったことがわかります。



野太馬の松の根元近くの一部。手前に置かれている 500 ml のペットボトルと比較すれば、その太さが想像できる

3 体育館

沼津キャンパスの体育館は 1974 (昭和 49) 年に竣工し、沼津教養部時代から体育の授業や課外活動など、学生たちの体躯を養う場として活用されてきました。

1995 (平成 7) 年には「ラート体操部」が創部され、第 1 回全日本ラート競技選手権大会が沼津キャンパス体育館を会場に開催されました。



沼津キャンパス体育館でラートの練習に精を出す西井啓介選手 (2003 年撮影 当時 II 大学院開発工学研究所属)

4 4号館

1991（平成3）年、開発工学部の開設に合わせて新築された4号館は、地上5階・地下1階建て。延べ床面積は9728.24㎡です。各学科の研究室や実験室が置かれたほか、1階には図書館がありました。



▲4号館の北側入口はキャンパス中央の大通りからアプローチ・デッキを通過して2階となる。屋上とデッキに採光窓が設けられ、デッキの下には図書館の閲覧室がある。▼開放的でありながら、落ち着いた雰囲気



5 中央階段

キャンパス内にある階段で、全92段。1段の高さは15cm（最下段のみ6cm）で、総高低差は約13.7m。幅は20m近くあり、学園内で最大規模

の階段です。

1999（平成11）年11月の建学祭期間には、中央階段と1号館のらせんスロープ壁面を利用したアートイベント「ビーナスプロジェクト」が実施されました。大学による教科外活動の支援



策「ユニークプロジェクト」に採択された同プロジェクトは、イタリア・ルネサンス期の画家ボッティチェリの代表作「ビーナスの誕生」を全高60mに拡大し、キャンパスに描き出そうという試み。

中央階段部分はベニヤ板、スロープ壁面部分はビニールシートを貼り合わせたものに、原画を分割して描きました。約30人の学生が、同年4月中旬から約半年もの間、準備・制作に奔走。「世界最大のビーナス」と呼ばれ、沼津周辺だけでなく静岡全域で大きな話題となりました。

6 サンサンハウス



開発工
学部の開
設 10 周
年を記念
して建て



られた、学生のアメニティー施設です。
2001（平成 13）年 3 月 17 日に竣工式
が実施されました。

中央階段の東側斜面に位置し、名称
は屋根に配置された太陽光発電設備に
ちなんでいます。延べ床面積は 149.23
㎡で、ラウンジ内に 52 席、テラスに
16 席、デッキに 7 台のベンチを設置。
飲料の自動販売機やサンドイッチなど
軽食の販売コーナーもありました。

7 1号館

1973（昭和 48）年に竣工した 1 号
館は、沼津キャンパスにおける 40 年
来のシンボルです。地上 5 階建てで、
延べ床面積は 5896.90㎡。学部長室や
教学課、事務課があるほか、2 号館・
3 号館とも各階でつながっており、ま
さにキャンパスの中核として機能して
きました。



当初は赤い鉄塔がらせんスロープの
上部に置かれ、よりシンボリックな外
観をしていましたが、老朽化のため
1998（平成 10）年 9 月に撤去されま
した。鉄塔の形状は熊本キャンパス 2
号館（1972 = 昭和 47 年竣工）上部の
塔と類似。どちらも設計は山田守建築
事務所で、本学園の理事・工学部教授
を務めた山田守（1894 ~ 1966）が設
計した京都タワー（1964 = 昭和 39 年
竣工）とも相似性が認められます。



1 号館の鉄塔は駿河湾から吹き付ける潮
風の影響で老朽化が進んだと言われてい
る。撤去作業は学生の少ない夏期休暇の
間に行われた。写真は 1998 年 8 月 17 日
撮影。切除した突端の部分をクレーンで
吊し、地面へ下ろそうとしている。作業は
9 月の秋学期開始までに終了した

沼津校舎 思い出写真館

あの日、あの時、この場所で——友と、師と、ともに過ごしたかけがえない時間。思い出の数々を胸に刻んで



【白亜の1号館／1973(昭和48)年11月】
左側の3号館は未竣工。沼津教養部の建
学祭「霞祭」の垂れ幕が見える



【キャンパス遠望／1974(昭和49)年ごろ】
中央通り両脇の木立もまだ小さかった



【第1回野太馬山祭典／1977(昭和52)
年4月】現在も続く愛鷹明神を祭る祭典



【沼津キャンパス空撮／1980(昭和55)
年ごろ】教養部時代のキャンパス全景。
現在4号館のある場所はグラウンドだった



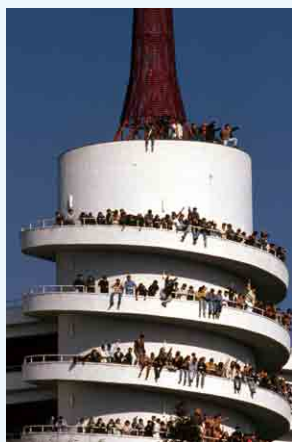
【建設中の4号館／1990(平成2)年9月】
翌年春の開発工学部開設を控え、急ピ
ッチで4号館の建設が進む(右手前)



【開発工学部開学式・4号館落成式／
1991(平成3)年4月8日】4号館2階の
デッキで行われたテープカット。この年、
開発工学部1期生442人が入学した



【開発工学部第1回建学祭／1991(平成3)年11月】「愛鷹祭」の名称で開催し、テーマは「はじめてだからやさしくしてね」だった。コンサートはZARDを招き大盛況



【1号館らせんタワーと学生／1993(平成5)年12月】学生主体で編集・発行した広報紙「ロマンチックな開拓者」のために撮影されたもの

東海大学開発工学部産学連絡協議会発会式・総会



【産学連絡協議会発会式／1992(平成4)年1月】開発工学部が産業界との連携を強め、研究開発や人材育成を促進することなどを目的に設置。略称「IULA」



【学生証の交付／1994(平成6)年4月】この年度に入学した4期生は400人。1号館の沼津学務課(1998年度から沼津教学課)窓口で長蛇の列ができた



【ただひたすらに歩く会／1992(平成4)年11月】建学祭にあわせ、学園発祥の地清水で採火した「建学の灯」を湘南まで徒歩でリレー。沼津の学生は沼津キャンパス～芦ノ湖間を担当した



【開発工学部1期生卒業記念植樹式／1995(平成7)年3月】1号館北側の斜面で実施。この後、毎年恒例行事となり、キャンパス緑化の一助にもなった



【温室棟群／1995（平成7）年7月】
1991（平成3）年の開発工学部開設にあわせてキャンパス北側に温室7棟と管理棟が竣工



【第1回全日本ラート競技選手権大会／1995（平成7）年11月】第1回から2007年の第13回大会まで沼津キャンパス体育館が会場に使用された



【開発工学部同窓会「愛鷹会」設立総会／1995（平成7）年11月】1995年3月に卒業した1期生有志が中心となって発足



【T-WAVEの植え込み／1996（平成8）年】中央階段の西側斜面に学園シンボルマークをかたどった植え込みが作られた



【地球にやさしいコンクール応募作品展示／1995（平成7）年11月】環境意識の喚起を目的に作文や絵画などを公募。学部や学生らが1993年から1998年まで全6回開催した。建学祭にあわせ表彰式や展示が行われた



【バスストップの風景／1997（平成9）年4月】富士急バスの運行する路線バス。JR 東海道線の原駅から、沼津キャンパス内、中央階段の上まで乗り入れていた



【お昼ご飯は何にする? / 1997 (平成9)年4月】3号館1階の学生食堂「カフェテラスするが」前でメニューを検討する学生



【学坂清掃活動 / 2009 (平成21)年10月】学生が地元の下宿組合と合同で、通学路を清掃。環境美化活動の一環として1994年ごろから実施してきた



【開発工学部第17回建学祭 / 2007 (平成19)年】同建学祭は1993年の第3回に「FESTA ASHITAKA」となり、第4回から「フェスタあしたか」の名で定着



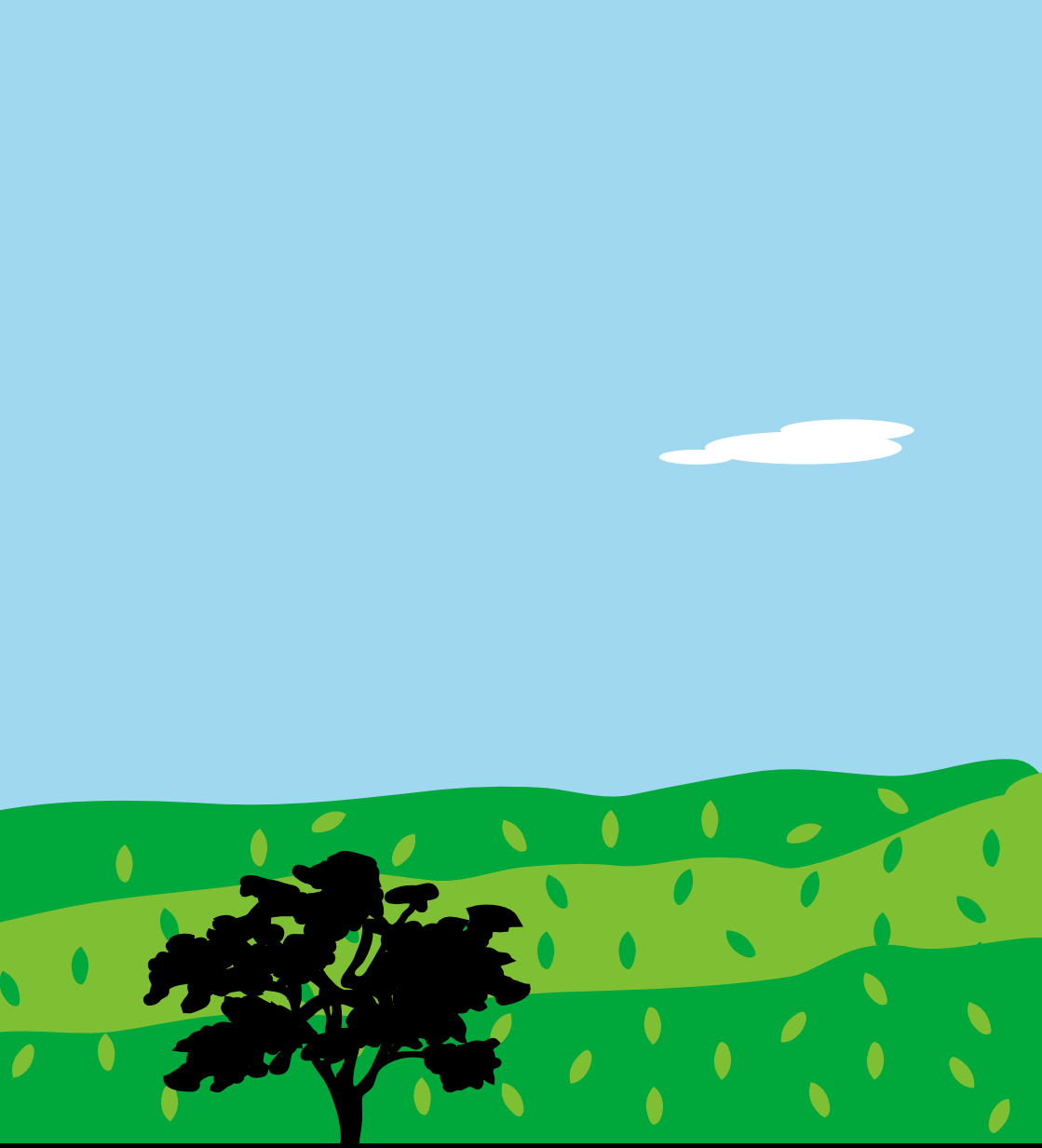
【開発工学部第20回建学祭 / 2010 (平成22)年11月】開発工学部として最後の建学祭。「ONLY ONCE IN THE LIFE」をテーマに実施した



【400mの流しそうめん / 2008 (平成20)年9月】学生が地元自治会の協力を得て企画・運営したイベントで、約400人が参加。キャンパスを縦断して竹の台を設置、そうめんを流した



【浮島地区電柱アートお披露目式 / 2011 (平成23)年2月】学坂での成功を受け、キャンパス近隣・浮島地区から要請があり、新たに15本の電柱アートを制作した



東海大学沼津キャンパスのあゆみ～散策ガイドブック+思い出写真館～

平成 25 (2013) 年 3 月 16 日 初版発行

編集・発行 東海大学学園史資料センター
〒 259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1
東海大学同窓会館 2 階

☎ 0463-58-1211 (代表) 内線 5251 ~ 5253
0463-50-2450 (直通)

協力 東海大学開発工学部・沼津事務課・沼津教学課
印刷 株式会社東海教育研究所

※本書の一部または全部を著作権法の定める範囲をこえ、無断で転載することを禁じます。